



## ドローンの眼

先日はスクールフェアへのご来場ありがとうございました。納得の高校選びにぜひつなげてもらいたいと思います。さてその会場となった海浜幕張には幕張メッセがあります。そこで行われるIT関連の大規模な展示会での今年の注目はドローンの技術でした。幕張新都心はドローンによる宅配の実証実験が行われる国の特区に指定されています。この方法は離島や山間部に生活必需品を届ける手段としても期待されています。また、超低空からの撮影や空からの農薬散布など様々な場面で実用段階になろうとしています。そこに使われている技術はスマホの爆発的な需要で急激に進化を遂げた小型高性能のリチウムイオン電池、モーター、加速度センサー、無線チップ、CPUなどです。飛行を支える道案内役は屋外の場合はGPSですが、屋内の場合は障害物などの立体がわかり正確な距離感のある眼が必要となります。そこには産業用ステレオカメラの技術が使われています。工場でベルトコンベアを流れる部品を識別するときにも応用されてきました。実はリコーやソニーという有名な会社も取り組んでいます。ソニーと組んで画像認識の研究開発をしているベンチャー企業の方に会場で話を聞くと、人間の眼の働きにいかに近づけるかの研究でしたが、最初は何に使うのかは知らされなかったそうです。それがドローンの眼の役割を担う研究だったのですね。

NHKの「プロフェッショナル～仕事の流儀」という番組でも産業用ロボットの開発をしている技術者がその眼にあたる画像認識に新しいアイデアで取り組む姿を紹介していました。その中で言っていた「人間こそ未知の宝箱」という言葉が印象的でした。人間の持っている能力はすごいということが、ドローンやロボットの研究を通じてあらためてわかってくるのでしょうか。

人間の脳は五感を通じて周囲の情報をどう集めて分析し判断しているのでしょうか。実は自分で思っているよりももっとスゴイチカラが眠っているのかもしれない。その力を少しでも多く引き出す練習が、今経験したり学習したりしていることなのでしょう！